

浦河町2012年の出来事

=新規事業にとりくみました=

浦河赤十字病院 増改築補助

平成23年3月から工事を開始した浦河赤十字病院の増改築事業のうち、南館が完成し、9月24日から診療がはじまりました

①利用者にとってわかりやすく快適な病院。②災害や救急医療の拠点となる安心の病院。③省エネで環境にやさしい病院。④時代や制度の変化に対応できる病院。この四つの概念にもと



新しくなった浦河赤十字病院

つき、地域に愛される病院になってほしいものです。

現在は、古い建物をこわしています。このあとは中央館、正面玄関、駐車場の工事がおこなわれ、平成26年3月にはすべての工事が完了する予定です。

一方では、医師・看護師不足も深刻です。

休診している診療科や出張医対応の診療科もあり、万全とは言えませんが、安心・安全な医療が受けられることが期待されています。



後継者の確保に期待

農業・漁業 担い手支援

漁業の担い手等支援事業が浦河町単独で、漁業の振興と地域社会の活性化を図るため平成24年度よりスタートしました。

①新規就漁者支援補助金は月額8万円、拾い昆布漁業者は月額4万円。②就漁者支援補助金は3万円（1回限り）。③就漁者家賃補助金は月額5000円から3万5000円の範囲内で財政的支援をおこないます。

農家の新規就農支援制度はこれまでもおこなわれていますが平成24年度には国の新規就農支援制度がはじまりました。

青年就農給付金として、準備型と経営開始型の二つにわかれています。町が主体となる経営開始型を活用できることになっています。就農開始から150万円が支給され、機械や設備等の取得、生活費や運転資金としても使うことができ、就農から最大5年間の支援です。

制度を活用し、若い農業者育成に役立ててほしいものです。

浦河出合い交流 支援事業

浦河町の今年度の目玉事業のひとつである「うらコン」が、11月17日に基幹集落センター堺町会館でおこなわれ、男女合わせて91名が参加し、交流を楽しみました。



男女の交流を深めた「うらコン」の会場

この事業は、少子化対策を目的とした「浦河出合い交流支援事業（うらコン）」です。

青年会議所・商工会議所青年部・漁協・農協・日高信金・日赤病院・役場等の有志で実行委員会をつくり、この事業を主催しました。

うらコンは、あいさつと乾杯ではじまり、まずは同じテブルの人達で交流を深めた後は、自由な会話を楽しむフリータイムにより会話は盛り上がりしました。

その後は、意気投合したメンバーにより二次会へ流れ、さらに交流は深まっています。

実行委員会では今回の参加者のアンケートをもとに、次の催しも企画したいということですが、素敵な出合いで目的達成へ続いてほしいものです。



耐震化された浦河小学校

浦河小学校の 耐震化を実施

国の中央防災会議により、平成17年に耐震改修促進法が改正されました。

浦河町も平成22年3月に「浦河町住宅・建築物耐震改修促進計画」を策定し、住宅と多数の方が利用する建築物の耐震化率を平成27年度までに国や北海道と同じく90%とすることを目標に23年度から耐震改修補助事業を実施するものです。

町有施設の多数の建築物や施設の現状は、耐震率69・4%と

なっています。

このため、災害時には避難所となる学校施設の耐震化を重点的に進めており、今年度は浦河小学校の耐震改修工事を完了しました。工費は7665万円です。

他の学校についても、来年度から順次、耐震化の工事を実施していく計画となっています。

消防ポンプ自動車 の更新

日高東部消防組合浦河消防署の消防ポンプ自動車が新しくな

ります。

現在のポンプ自動車は昭和59年に配置され、約28年経過したことから、今回入れ替えることになりました。

新しいポンプ自動車は4輪駆動で、ABS装置付・救命索発射銃が装備されます。また、あらたに救助用の資器材として、救助用ロープ、要救助者を安全に拘束することができる縛帯、バスケット担架などが積載されます。

これにより、災害現場において迅速に救助活動をおこなうことが可能となります。

ポンプ自動車の購入経費は3528万円です。国の補助金8



入れ替えになる消防のポンプ自動車

4万円、過疎対策費2360万円、不足分を一般財源284万円支出する見込みです。

発注より納車まで6ヵ月程度かかり、平成25年1月17日に納車予定です。

火災発生時の初期消火、災害現場での救命救助に活躍するものと期待します